



学校だより

空青々

第 6 号

鹿児島市立伊敷台中学校
令和3年12月24日発行

人の役に立つ喜び

校長 平田 和利

明治の幕開け、北海道開拓を進めるため、札幌農学校に招いたクラーク博士が、日本を去るときに教え子に残した言葉「少年よ、大志を抱け」という有名な言葉があります。この言葉の後には、「大志」の意味を「お金のためではなく、私欲のためでもなく、名声と言う名の空虚な志のためでもない。人間が人間として当然備えていなければならないあらゆることを成し遂げるために大志を抱け。」というものです。つまり、お金や名誉とかのために生きるのではなく、様々なことを学び備える事で、人のために役立つ大志を抱く、ということです。自分の働きが周りの人の役に立つことを経験している子供は、困っている人を優しい言葉や行動で助けようとし、また、誰かがやらなければならないことを率先してやり遂げます。

令和3年度全国学力・学習状況調査の「人の役に立つ人間になりたいと思うか」の調査結果で「当てはまる」と回答した本校の生徒の割合は80%、県平均77%、全国平均74.3%ですので全国、県平均を上回っています。

昨年2月に急逝した野村克也氏も「人間的成長なくして技術的進歩はない」という人間教育の先にしか、個々の野球技術の向上はあり得ないとして、人は家庭や学校で学んだことを社会に出て生かし、仕事を通して「世のため人のため」に生きていかねばならないことを指導の基本においていました。

叱られて動く種や物で動く種、ほめられて動く種などではなく、「人の役に立つ種」を子供の心に植えることを学校・家庭・地域が連携しながら推進していきたいと思ひます。

さて、2学期早々新型コロナウイルス感染拡大防止から時差登校や学校行事等の制限など様々な教育活動でご迷惑をおかけしました。しかし、多くの生徒の成長を確認し充実した時間を過ごすことができました。保護者の皆様には全面的にご理解と

ご協力を賜わり、心から感謝しております。ありがとうございました。

校内ロードレース大会

12月10日(金)に3年生、12月11日(土)に1・2年生のロードレース大会を実施いたしました。

予定どおり事故もなく無事終了することができました。例年のことではありますが、PTA保体部の皆様には寒い中、レース中、安全誘導のために立哨に当たっていただきました。



また、沿道から多くの保護者の皆様からご声援いただきました。心から感謝申し上げます。生徒の頑張りに大きな拍手を送りたいと思ひます。各学年の総合優勝は、1年2組、2年5組、3年5組でした。おめでとうございます。



最高の門松～父親セミナー～

12月12日(日)、父親セミナーの皆様のご協力をいただき、門松作りを行いました。

当日は、朝9時に集合し、作り方を確認した後、早速2班に分かれて作業に取りかかり、どこにもない「最高の門松」が完成しました。

当日、門松づくりに参加していただいた父親セミナーの皆様



様ありがとうございました。

早速、12月15日の全校朝会で全校生徒に門松の紹介や意義等について説明をしました。

生徒会と連携 資源回収

12月4日(日)、本年度2回目となるPTA主催による資源回収を実施いたしました。時間帯は午前7時30分から資源物をトラックが回収するまで、集荷場所は学校をはじめ17箇所での回収でした。どの集荷場所でも開始前から多くの生徒や保護者の方々が、両手に多くの資源物を抱えて、集荷作業をしてくださいました。一生懸命、親子で協力する姿は、とても素敵だと思うことでした。

地域部の皆様には、企画・運営等大変お世話になりました。また、集荷物を提供してくださった保護者、地域の方々に心から感謝申し上げます。

また、第29期生徒会は、「台中SDGs～夢に向かって進め現状打破で新しい未来へ～」のスローガンの基、伊敷台中から世界のためにできることを見つけたいと活動を開始しています。

早速、12月1日(水)の生徒朝会では、生徒会本部から第2回資源回収に向けて、パワーポイントを使って全校生徒へ資源回収の取組等についての説明がありました。12番目のSDGsの目標「つくる責任 つかう責任」から学校全体でのリサイクル意識を高め、地域とのつながりや生徒、保護者、先生方との貴重な触れ合いなどの大切さについて考える機会となりました。



第2回評議委員会開催

11月8日(月)に本年度第2回目の学校評議委員会を開催いたしました。今回は2学期の教育活動報告や授業参観、各主任からの生徒の実態などの報告を中心に会を進めました。委員6人が、全クラスの授業をはじめ、本校の教育活動の現状を見ていただきました。

委員からは、学校がきれいであること、学級経営や掲示物、読書感想などが工夫されていること、タブレットを活用する授業を参観できたことなど評価していただきました。また、生徒の授業態度やコロナ禍の中で生徒の心のケア、気づき作業の現状、信頼できる学校であるか、考えをまとめる工夫・読解力を高める取組などについてのご指摘もいただきました。

今後とも保護者、委員の皆様のご意見を学校運営に生かしていきたいと思っております



みんなで9時OFFしよう

伊敷台中学校生徒会、伊敷台中PTAでは、「自分のため 相手のためを思って 夜9時以降は電源オフ」運動の取組を行っています。

ネット社会になり、インターネット上の公共の掲示板や、生徒が独自に作成した掲示板や自己紹介サイトなどに、個人を特定した誹謗中傷を書き込んだり、カメラ等で撮影した他人の顔写真を無許可で掲載したりすることや、LINE等の無料通信アプリによる仲間はずれ等により、精神的な苦痛や不安をあたえるトラブルが多く発生しています。

私たちは、身の周りの機器や道具の操作方法は生徒にかなわないかもしれませんが、使用目的に関して、他人に迷惑をかけたり、自分が犯罪に巻き込まれたりしないような正しい活用の仕方についてきわめて弱い生徒に対して、私たちが指導やしつけ、家庭でのルールづくりなどはしなければならないと思います。今日の終業式で、鹿児島西警察署の方から、SNS等によるトラブルなどについての講話をしていただきました。ご家庭でも是非話題にしてください。

